

令和2年度 第1回 北海道釧路養護学校 学校運営協議会資料

令和2年度

「学校経営方針」について



令和2年9月8日（火）

北海道釧路養護学校 校長 小笠原 正樹

現状の把握①：令和元年度の学校経営から

○成果：現在の強み

【資料1】

- ・ **新学習指導要領**に対するきめ細やかな研修
- ・ 校内研修により、**児童生徒の的確な理解**と指導・支援
 - 子どもたちは学ぶ楽しさ、喜びを実感
- ・ **キャリア教育・進路指導**の充実
 - 手伝い、役割活動、働くことが好き
- ・ 漢字検定受検、芸術作品展へ数多く出展
 - **自尊感情**の高まり
- ・ 落ち着いた授業への取り組み
 - **環境整備**（人的側面・物的側面）
- ・ 地域の**センター的役割の発揮**と関係機関との綿密な**連携**
- ・ 「一人一人がかげがえのない大切な存在」であることを理解した指導・支援
 - **指導内容の工夫**、保護者への**説明責任**及び**情報発信**、**組織的な対応**と**迅速化**
 - **大きな事故なし**
- ・ **働き方改革**について、一部工夫も



現状の把握②：令和元年度の学校経営から

○課 題

- ・ **主体的・対話的で深い学びの視点**を大切にした教育課程の改善・充実の継続
- ・ 12年間を見通した**切れ目のない学び**の展開（卒業後を見据えたキャリア教育の推進）
- ・ **自信、自己肯定感、余暇活動の広がり**などにつながるように取り組みを継続
- ・ 一層の**関係機関との綿密な連携**
- ・ 保護者と一層の**信頼関係**を構築
- ・ 校内の**各種マニュアル**の見直しと確認
- ・ 情報発信の継続と、**地域を「教場」とした**教育活動の一層の推進。
- ・ 近い将来の**狭隘化**に対する対応
- ・ **働き方改革**の取り組みについて、共通理解と具体化



児童生徒にとって安全安心な学校であるために

- **新型コロナウイルス感染症**に対する対応
 - **体罰根絶**：「学校生活の主体者は児童生徒」
 - 「慣れない」「風化させない」
 - 「あれ、今の大丈夫？こうした方がいいのでは？」
- ◎ **互いに確認**しあえる関係づくり

- **防災**：**地域との連携**



一人一人の**経営参画意識**と

各部署間の**連携・協力**

令和2年度

安全で安心な釧路養護学校であるために

- 全職員が**危機管理意識**をしっかりと持つ
(傍観者や評論家ではなく、**当事者として**考える)
- **危機管理マニュアル**に基づき迅速かつ適切に対応する
- 「**報告・連絡・相談**」という基本を忠実に行う 一方では
「**確認・連絡・報告**」も大事 (ほうれんそうとかくれんぼう)
- 現状の危機管理体制に不備がないか**日ごろから確認**する
(事故報告・**ヒヤリハット**の蓄積と共有)
- 事故事例を**分析**して原因を探り**改善**を図る
 - 忘れてはならない6月9日
～ **毎月9日は「安全確認の日」** ～
- **体罰根絶の誓い**

【令和2年度の学校経営方針】

－「**深**化」と「**進**化」－

深化：（物事が）深くなること。（理解などを）深めること。

進化：さらに広く、事物が一層優れたものに発展すること。



【基本理念】（めざす学校の姿）

「児童生徒一人一人がともに生きる教育の創造」

➡ 人権尊重／社会自立・参加／地域に根ざす

●児童生徒一人ひとりが**共生社会の一員**として

自分らしさを発揮し、

生き生きと豊かに生活する姿を目指し、

保護者や地域と共に、

それに必要な

〈**働く力・暮らす力・楽しむ力**〉を育む

【資料2】



【学校教育目標】 (目指す児童生徒の姿)

資料 3

「今を 明日を 自分らしく 心豊かに 生きる人を育てる」

【資料 3】

- ・ **よさや持ち味を発揮する児童生徒**
〈明るさ、穏やかさ、伸びやかさ、自己表現〉
- ・ **豊かにかかわりあう児童生徒**
〈伝わるよろこび かかわり合えるよろこび〉
- ・ **自分から進んで取り組む児童生徒**
〈健康な心と体 学ぶ楽しさ 働くよろこび〉



【学校経営の基本姿勢】

- **児童生徒**にとって、授業が楽しく、**確かな学力**が身につく学校をつくります。
- **保護者**にとって、確かな成長が伝わり、**信頼や協力**ができる学校をつくります。
- **地域**にとって、教育活動がよくわかり、**地域に開かれた**学校をつくります。
- **職員**にとって、**専門性**を高め、**働きがい**のある学校をつくります。

〈**人権尊重**：体罰根絶、一人一人に応じた教育〉

- 【教育方針】**
- **人権、安心、安全が守られる教育**
 - **「わかる」「できる」「やりたい」授業**

【経営方針】

- ・安全安心／本校職員としての誇り／学部、学年間の連携／専門性の向上／信頼される学校・社会に開かれた学校／効率的な予算執行／釧路鶴野支援学校との連携

【重点教育目標】

『主体的・対話的で深い学びの視点を大切にした授業づくりの推進』

～ 社会に開かれた教育課程の創造に向けて ～

【重点達成のためのキーワード】

「伝え合う」「認め合う」「つなぐ」「織りなす」

【令和2年度の重点】

資料4

● グランドデザイン

➡ 学校の教育理念や果たすべき役割を描いた経営全体の全体構想

● 下位目標達成のため、

「児童・生徒」「保護者・地域」「教職員」それぞれの区分ごとに、「**目標達成のための方法**」「**成果目標**」を設定。

● 具体についての「**見える化**」と成果目標の「**意識化**」

- 重点教育目標をより**意識**した取り組み
- 「**成果目標**」達成に向け、**中間評価**の実施、**軌道修正**
- 各セクションにおける**責任**の明確化



「児童・生徒」の視点で

- ▶ **確かな学力・生きる力**を育む授業の実施
- ▶ **将来の生活**につながる教育課程の見直し
- ▶ **安心・安全**な教育の実施
- ▶ **寄宿舎**での生活指導・余暇活動の充実



「保護者・地域」の視点で

- ▶ **学校情報**の継続的な発信と公開
- ▶ **説明責任**を果たせる教育の実現
- ▶ **社会に開かれた教育課程**の推進
- ▶ より密接な関係機関との**連携**（福祉・医療・行政・教育）
- ▶ **信頼される学校**への
絶え間ない取組の継続



「教職員」の視点で

- ▶ 的確な**児童・生徒理解**に基づいた授業
- ▶ **指導力・授業力**の向上
- ▶ **協働意識**の向上と**働きやすい職場**づくり
- ▶ 教職員としての**自覚と誇り**
- ▶ **新学習指導要領**を踏まえた教育活動の実施



masaki

学校の将来を見据えて取り組むこと

- 次の時代に向けた「**学校教育目標**」の改訂の準備
- **釧根地区における本校の役割**の再検討
 - 〔H31 中標津支援学校の義務部門併設〕
 - 〔H31 釧路鶴野支援学校の間口整備〕
 - 〔根釧地区におけるセンター的機能の発揮〕
- 特別支援学校・本校なりの「**働き方改革**」のさらなる推進
- **学校運営協議会（コミュニティー・スクール）**開始に伴う諸処の整理、方向付け

最後に・・・

〈プロデュースについての考察〉



- 意味は？

- 誰のためのプロデュース？

- 保護者、関係機関、教員が児童生徒のために児童生徒の生活（現在・未来）を

- 共存

- **セルフプロデュース**

自分が思いに描いたビジョンに向かい、

人々の協力を得て、

その世界を生み出していく生き方